Pioneer

USB オーディオドライバー インストールマニュアル (Windows 用)

目次

ドライバー	ソフトウェアのインストール	<u>1ページ</u>
ドライバー	ソフトウェアのアンインストール	<u>3ページ</u>
困ったとき	(Windows XP の場合)	<u>4ページ</u>
困ったとき	(Windows Vista の場合)	<u>6ページ</u>
困ったとき	(Windows 7 の場合)	<u>10ページ</u>
困ったとき	(Windows 8/8.1/10の場合)	<u>14ページ</u>

動作OSは機種によって異なります。対応OSを確認の上、 ドライバーソフトをお使いください。 動作確認 OS および再生ソフトウェアは、各製品のドライバーソフト ウェアダウンロードページを確認してください。

この取扱説明書に記載されている画面のイラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。

Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

ドライバーソフトウェアのインストール

ドライバー名およびデバイス名を「Pioneer xxxxxx」と表記しています。xxxxxx はお使いの製品ごとに異なり、製品型番等が入ります。

ドライバーソフトウェアをダウンロードする。

ソフトウェアダウンロードページよりドライバーソフトウェアをダウンロードします。

- ドライバーソフトウェアは、ダウンロードする際にお客様が指定したフォルダー内に保存されます。
- ご使用のブラウザーによっては、ドライバーソフトウェアをダウンロードする際に保存 先指定のウインドウが表示されないことがあります。このときはブラウザーに設定され たフォルダー内に保存されます。
- ドライバーソフトウェアは ZIP 形式の圧縮ファイルでダウンロードされます。
 圧縮ファイル名: Pioneer_xxxxxx.zip

② ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する。

ダウンロードした圧縮ファイルを右クリックし、[すべて展開]をクリックして解凍します。 (お使いの解凍ソフトによっては操作方法が異なる場合があります。)

③ **製品本体の USB-B 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して、電源を入れる。** 接続については、本体の取扱説明書をご確認ください。



※ この取扱説明書では、パソコンと接続する製品本体の端子を「USB-B 端子」と表記しています。実際の端子の名称や位置は製品ごとに異なります。



- ④ 本体の入力を USB-B 端子に対応する入力に切り換える。



🖉 メモ

 本ドライバーソフトウェアの旧バージョンがすでにインストールされていると、InstallShield ウィ ザードで[削除]が表示されます。このときは、画面の指示に従って旧バージョンのドライバーソフ トウェアを削除後に、パソコンを再起動して本ドライバーソフトウェアをインストールしてください。

⑥ 【次へ】をクリックする。



⑦【インストール】をクリックする。

Pioneer xxxxxxxxxxx	×
インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。	
[インストール] をりリックしてインストールを開始してください。	
インストール設定を確認または変更する場合は、「戻る] をグリックします。ウィザートを終了するには、「 します。	キャンセル]をクリック
InstallShield	
< 戻る(B) (1721-ルー)	キャンセル

下記の画面表示になります。手順⑧の画面になるまでしばらくお待ちください。

ioneer xxxxxxxxxx ቂታኑፖታን*	
InstallShield(R) Wizard はPioneer xxxxxxxxxxxxxx をインストールしています	
ለሃአ፦ル中	
nstalShield	
	キャンセル

「Windows によって PC が保護されました」と表示された場合は、「詳細情報」をクリックして【実行】を押してください。

⑧ 【完了】をクリックする。

Pionner xxxxxxxxxxxxx	InstallShield Wizard の完了 InstallShield Wizard は、Pionner xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx を正常に インストールしました。この7ロゲラムを使用する前に、コンピュータを再起動する-必 要があります。
	< 戻る(B) 完了 特沙切り

ドライバーソフトウェアのインストールを終了します。

⑨ パソコンを再起動する。

ドライバーソフトウェアのアンインストール

インストールしたドライバーソフトウェアをアンインストール(削除)するときは、パソコン側で以下の操作を行います。

ドライバー名およびデバイス名を「Pioneer xxxxxx」と表記しています。xxxxxx はお使いの製品ごとに異なり、製品型番等が入ります。

- パソコン画面の左下の【スタート】をクリックし、【コントロールパネル】を開く。
 Windows 8/8.1/10の場合は、【Windows】キーと【X】キーを押して【プログラムと機能】
 を選択し、③へ進みます。
- ② コントロールパネルの中から【プログラムのアンインストール】または【プログラムの追加と削除】を選択する。
- 【Pioneer xxxxxx】を選択し、【アンインストール】または【削除】をクリックする。

アンインストールのダイアログが表示されます。

④ 【OK】をクリックして、アンインストール画面に進む。



⑤ 【次へ】をクリックして、アンインストール実行画面に進む。

Pioneer xxxxxxxx	x	×
ようこそ		
Pioneer xxxxx を変更することな	oooxx セットアップ メリテナソス フログラムヘようこそ。このフログラムを使って、現在のインストール でできます。	
☞ 削\$\$(B)	すべてのインストールされている機能を削除します。	
	< 戻る(B) (次へ(N)) キャンセル	

⑥ 【はい】をクリックして、アンインストールを実行する。

Pioneer xxxxxxxxxx			X
 選択したアフツケーション、 およびすべての)機能を完全(ご削	1除しますか?	
	(III)(Y)	いいえ(<u>N</u>)	

⑦【完了】をクリックして、パソコンを再起動する。

Pioneer xxxxxxxxxx		
	アンインストール完了	
	InstallShield Wizard は Pioneer xxxxxxxxxxxxx ルを完了しました。	
	● [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]	
	○ いいえ、後でコンピュータを再起動します。	
	ドライフからすべてのディスクを取り出してから、「完了」 本なりを外ックして、 セットアッフを終了してください。	
< 戻る(目) 完了 村沙地川		

ドライバーソフトウェアのアンインストール(削除)を終了します。

困ったとき(Windows XP の場合)

ドライバー名およびデバイス名を「Pioneer xxxxxx」と表記しています。xxxxxx はお使いの製品ごとに異なり、製品型番等が入ります。

1. 音声が出ないとき

USB-B 端子搭載製品の電源がオフのときや、USB-B 端子に対応する入力になっていないときは、パソコン側の再生ソフトを起動しないでください。USB-B 端子に対応する入力に切り換えたあとにパソコンの再生ソフトを起動してください。 USB-B 端子に対応する入力名は、本体の取扱説明書をご確認ください。

- ① 【スタート】⇒(【設定】⇒)【コントロールパネル】⇒【システム】をクリックする。
- ② 【ハードウェア】のタブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックする。
- ③ 【USB(Universal Serial Bus) コントローラ】をクリックし、【USB 複合デバ イス】が登録されていることを確認する。



 ④ 【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ】をクリックし、【Pioneer xxxxxx】が登録されていることを確認する。

島 デバイス マネージャ	
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	
	10
	×

上記の表示がないときは、USB-B端子搭載製品の入力がUSB-B端子に対応する入力に なっていることを確認してから、ケーブルを挿入し直すか、電源を一度オフにしてからオ ンにし直すと再認識されます。

- ⑤ 【スタート】⇒(【設定】⇒)【コントロールパネル】⇒(【サウンド、音声 およびオー ディオデバイス】)⇒【サウンドとオーディオデバイス】をクリックする。
- ⑥ サウンドとオーディオのプロパティを開く。



 【オーディオ】のタブの「音の再生」の既定のデバイスに「Pioneer xxxxxx」 が表示されていることを確認する。

⇒ 他のデバイスが選択されている場合は、「Pioneer xxxxxx」を選択してから【適用】 をクリックし、設定を変更する。

サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ 🛛 🕐 🔀
音量 サウンド オーディオ 音声 ハードウェア
音の再生 一 一 一 の デバイス(D): Pioneer xxxxxxxxxx Pioneer xxxxxxxxxxx Pioneer xxxxxxxxxxxxxx
音重(図 言+細調支定(図 録音 既定のデバイス(E):
▲ 録音デバイスなし ● 音量(① 詳細設定(○) ● MIDI 音楽の再生
既定のデバイス(E): Microsoft GS Wavetable SW Synth
音量(M) (バージョン情報(B))
□ 既定のデバイスのみ使用する(U)
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

- ⑧ 設定を有効にするために、パソコンを再起動する。
- ③ ご使用の再生プレーヤーのボリュームが最大になっていることを確認する。
 ご使用の再生プレーヤーに出力プラグイン設定がある場合は、「Pioneer xxxxxx」が選択されていることを確認する。

手順終わり

2.0S エラー音をスピーカーから出したくないとき

初期のOSの設定では、本機を通し、スピーカーからOS起動音、エラー音などが出力されます。 音楽信号以外を再生させたくない場合は、下記設定を行うとこれらの音声が出力されないようにできます。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【サウンドとオーディオデバイスのプ ロパティ】を開く。
- 【サウンド】タブのサウンド設定で「サウンドなし」を選択し、【適用】をクリックする。

サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ 🛛 🛛 🗙
オーディオ 音声 ハードウェア
音量 ザワンド
サウンド設定は、Windows とプログラムのイベントに適用されるサウンドのセットです。既存の設定を選んだり、修正した設定を保存できます。
サウンド設定(0):
✓
標準の組み合わせ
するサウンドを選んでください。変更内容を新しいサウンド設定として保存できま
वे.
プログラム イベンド(<u>P)</u> :
🗂 Windows 🔗
Select 💻
Show Toolbar Band
Windows の起動
● Windows の称了
サウンド(S):
◆照(B)
OK キャンセル 適用(A)

困ったとき(Windows Vista の場合)

ドライバー名およびデバイス名を「Pioneer xxxxxx」と表記しています。xxxxxx はお使いの製品ごとに異なり、製品型番等が入ります。

1. 音声が出ないとき

USB-B 端子搭載製品の電源がオフのときや、USB-B 端子に対応する入力になっていないときは、パソコン側の再生ソフトを起動しないでください。USB-B 端子に対応する入力に切り換えたあとにパソコンの再生ソフトを起動してください。 USB-B 端子に対応する入力名は、本体の取扱説明書をご確認ください。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【システムとメンテナンス】⇒【システム】
 をクリックする。
- ② タスクから【デバイスマネージャ】をクリックする。



③ 【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ】をクリックし、【Pioneer xxxxxx】が登録されていることを確認する。



 ④ 【ユニバーサルシリアルバスコントローラ】をクリックし、【USB 複合デバイス】 が登録されていることを確認する。



上記の表示がないときは、USB-B端子搭載製品の入力がUSB-B端子に対応する入力になっていることを確認してから、ケーブルを挿入し直すか、電源を一度オフにしてからオンにし直すと再認識されます。

⑤ 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】 をクリックする。



⑥ 【再生】のタブの「スピーカー」に、「Pioneer xxxxxx」が既定のデバイスとしてチェックマークが表示されていることを確認する。

⇒ 他のデバイスが選択されている場合は、「Pioneer xxxxxx」をクリックして選択し、「既 定値に設定 (S)」ボタンを押す。

💐 サウンド 📃	<
再生 録音 サウンド	
下のデバイスの再生デバイスを選択してその設定を変更してください:	
スピーカー Pioneer xxxxxxxxxx 動作中	
構成(C)	
OK キャンセル 適用(A)	

⑦ 「スピーカー」(「Pioneer xxxxxx」)をダブルクリックしてプロパティを開く。

⑧【レベル】のタブの中から、スピーカースライダーを最大にする。

スピーカーボタン (バランスボタンの左) にミュートマークがついていたら、クリックし、 ミュートを外す。

こので、このプロパティ	×
全般レベル詳細	
100 (m) パランス(B)	
	A)

③ ご使用の再生プレーヤーのボリュームが最大になっていることを確認する。 ご使用の再生プレーヤーに出力プラグイン設定がある場合は、「Pioneer xxxxxx」が選 択されていることを確認する。



2.0S エラー音をスピーカーから出したくないとき

初期のOSの設定では、本機を通し、スピーカーからOS起動音、エラー音などが出力されます。 音楽信号以外を再生させたくない場合は、下記設定を行うとこれらの音声が出力されないようにできます。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】
 を開く。
- 【サウンド】タブのサウンド設定で「サウンドなし」を選択し、【適用】をクリックする。

🖌 サウンド	×
再生 録音 サウンド	
サウンド設定は、Windows とプログラムのイベントに適用されるサウンドのセートです。既存の設定を選んだり、変更した設定を保存できます。	ש
サウンド設定(止):	
Windows 標準 (変更) ▼ 名前を付けて保存(⊻)… 削除(□	2)
Windows 標準 プラム イベントをクリックしてから、 サウンドなし パロシンドなし Windows 標準(変更) い空めすくのであり、	
プログラム イベント(<u>E</u>):	
 Windows ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•
☑ Windows スタートアップのサウンドを再生する(P)	
サウンド(<u>S</u>):	
(なし) ▼ テスト(I) 参照(B)	
OK キャンセル 適用(A	Ð

手順終わり

3. パソコンから出力される音声データのサンプリング周波数の設定

再生するファイルのサンプリング周波数と、転送するサンプリング周波数を合わせることに より、周波数変換を行わずに転送することができます。

パソコンのスペックが低い場合、高いサンプリング周波数が設定されていると音声再生に乱 れが生じることがあります。

その場合は、ビット数 / 周波数を「2 チャンネル、24 ビット、44100 Hz」などの低いレートに設定してください。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】
 をクリックする。
- ② 【再生】タブの「スピーカー」で「Pioneer xxxxxx」をダブルクリックし、スピー カーのプロパティを表示する。

🚽 サウンド 💽
再生 録音 サウンド
下のデバイスの再生デバイスを選択してその設定を変更してください:
スピーカー Pioneer xxxxxxxxx 動作中
構成(<u>C</u>)
OK キャンセル 適用(A)



③ 【詳細】タブの既定の形式から、出力したいサンプリング周波数を選択し、適用 をクリックする。

🔋 スピーカーのプロパティ
全般レベル詳細
照文の形式
共有モートで使用されるサンブル レートとヒットの除さを選択します。
16 ビット、44100 Hz (CD の音質) ・ テスト(I)
16 ビット、44100 Hz (CD の音質)
16 ビット、48000 Hz (DVD の音質)
- 損10 ビット、90000 Hz (スタシオの音質) 16 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)
10 ビット、152000 H2 (スタジオの音質) 24 ビット、44100 Hz (スタジオの音質) きみょうにすみ
24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質)
24 ビット、96000 Hz (スタジオの音質)
24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)
既定値に戻す(D)

困ったとき(Windows 7 の場合)

ドライバー名およびデバイス名を「Pioneer xxxxxx」と表記しています。xxxxxx はお使いの製品ごとに異なり、製品型番等が入ります。

1. 音声が出ないとき

USB-B 端子搭載製品の電源がオフのときや、USB-B 端子に対応する入力になっていないときは、パソコン側の再生ソフトを起動しないでください。USB-B 端子に対応する入力に切り換えたあとにパソコンの再生ソフトを起動してください。 USB-B 端子に対応する入力名は、本体の取扱説明書をご確認ください。

- ① 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【システム】をクリックする。
- 【システム】の中の【デバイスマネージャー】をクリックする。
- ③ 【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー】をクリックし、【Pioneer xxxxxx】が登録されていることを確認する。



④ 【ユニバーサルシリアルバスコントローラー】をクリックし、【USB Composite Device】が登録されていることを確認する。

ニュデバイスマネージャー	- O X
ファイル(E) 操作(<u>A</u>) 表示(<u>V</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
	E
USB Root Hub	
- 単 USB Serial Converter - 単 不明なデバイス	
	-

上記の表示がないときは、USB-B端子搭載製品の入力がUSB-B端子に対応する入力になっていることを確認してから、ケーブルを挿入し直すか、電源を一度オフにしてからオンにし直すと再認識されます。

⑤ 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】 をクリックする。



⑥ 【再生】のタブの「スピーカー」に、「Pioneer xxxxxx」が既定のデバイスとしてチェックマークが表示されていることを確認する。

⇒ 他のデバイスが選択されている場合は、「Pioneer xxxxxx」をクリックして選択し、「既 定値に設定 (S)」ボタンを押す。

🛞 サウンド	×
再生錄音	サウンド 通信
下の再生デ	バイスを選択してその設定を変更してください:
	スピーカー High Definition Audio デバイス 準備完了
	ヘッドホン High Definition Audio デバイス 接続されていません
	スピーカー Pioneer XXXXXXXXXX 既定のデバイス
構成(<u>c</u>	(2) 既定値に設定(S) ▼ プロパティ(P)
	OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

⑦ 「スピーカー」(「Pioneer xxxxxx」)をダブルクリックしてプロパティを開く。

⑧ 【レベル】タブを選択し、スピーカー スライダーを最大にする。

スピーカーボタン (バランスボタンの左) にミュートマークがついていたら、クリックし、 ミュートを外す。

🔍 スピーカーの)วื่อ//ี่รา
全般 レベル	言¥希田
スピーカー	100 (1) /(7>ス(<u>B</u>)
	OK をおいけれ、 (法田(A)

③ ご使用の再生プレーヤーのボリュームが最大になっていることを確認する。 ご使用の再生プレーヤーに出力プラグイン設定がある場合は、「Pioneer xxxxxx」が選択されていることを確認する。



2.0S エラー音をスピーカーから出したくないとき

初期の OS の設定では、本機を通し、スピーカーから OS 起動音、エラー音などが出力されます。 音楽信号以外を再生させたくない場合は、下記設定を行うとこれらの音声が出力されないようにできます。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】
 を開く。
- 【サウンド】タブのサウンド設定で「サウンドなし」を選択し、【適用】をクリックする。

ジ サウンド	
再生録音サウンド通信	
サウンド設定は、Windows とプログラムの 存の設定を選んだり、変更した設定を保存)イベントに適用されるサウンドのセットです。既 字できます。
サウンド設定(日):	
庭園 (変更) 🗸 🔻	名前を付けて保存(⊻) 削除(D)
Windows 標準 うたたね キャラクター	ラム イベントをクリックしてから、適用するサウ ウンド設定として保存できます。
サウンドなし サバンナ ソナタ ゴルーフ	
ノルース ラーガ 気まぐれ 祝祭 庭園 伝統 都市]御
風景 和弦 庭園 (変更)	9生する(2)
(なし)	▼ ▶ テスト(エ) 参照(<u>B</u>)
	К キャンセル 適用(<u>A</u>)

手順終わり

3. パソコンから出力される音声データのサンプリング周波数の設定

再生するファイルのサンプリング周波数と、転送するサンプリング周波数を合わせることに より、周波数変換を行わずに転送することができます。

パソコンのスペックが低い場合、高いサンプリング周波数が設定されていると音声再生に乱 れが生じることがあります。

その場合は、ビット数 / 周波数を「2 チャンネル、24 ビット、44100 Hz」などの低いレートに設定してください。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】
 をクリックする。
- ② 【再生】タブの「スピーカー」で「Pioneer xxxxxx」をダブルクリックし、スピー カーのプロパティを表示する。

沙 サウンド	×
再生録音サウンド通信	
下の再生デバイスを選択してその設定を変更してください:	
スピーカー High Definition Audio デバイス 準備完了	
Nyドホン High Definition Audio デバイス 接続されていません	
スピーカー Pioneer xxxxxxxxxx 既定のデバイス	
OK キャンセル 適F	Ħ(<u>A)</u>



③ 【詳細】タブの既定の形式から、出力したいサンプリング周波数を選択し、適用 をクリックする。

全般レベル詳細
既定の形式
共有モードで使用されるサンプル レートとビットの深さを選択します。
24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) ▼ 16 ビット、44100 Hz (CD の音質) 16 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、88200 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、88200 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、176400 Hz (スタジオの音質) 73 16 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) 74 24 ビット、44100 Hz (スタジオの音質) 73 24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 74 24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 74 24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) 74 24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) 74 24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) 75
既定値に戻す(D) OK キャンセル 適用(A)



困ったとき(Windows 8/8.1/10 の場合)

ドライバー名およびデバイス名を「Pioneer xxxxxx」と表記しています。xxxxxx はお使いの製品ごとに異なり、製品型番等が入ります。

1. 音声が出ないとき

USB-B 端子搭載製品の電源がオフのときや、USB-B 端子に対応する入力になっていないときは、パソコン側の再生ソフトを起動しないでください。USB-B 端子に対応する入力に切り換えたあとにパソコンの再生ソフトを起動してください。 USB-B 端子に対応する入力名は、本体の取扱説明書をご確認ください。

- ① 【Windows】キーと【X】キーを押して【デバイスマネージャー】を選択する。
- ② 【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー】をクリックし、【Pioneer xxxxxx】が登録されていることを確認する。



③ 【ユニバーサルシリアルバスコントローラー】をクリックし、【USB Composite Device】が登録されていることを確認する。

	デバイス マネージャー	- 🗆 🗙
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)		
🗢 🔶 📰 🖾 🛛 🖉 🗤 🥀 🕼		
D		^
 ▶ 2 マウスとそのほかのポインティング デバイス ▶ モニター ■ エニ/ー・ガル シリアル パス コントローラー ■ Generic USB Hub ■ Generic USB Hub ■ Intel(R) 7 Series/C216 Chipset Family U ■ Intel(R) USB 3.0 eXtensible Host Control ■ Realtek USB 2.0 Card Reader ■ USB Composite Device ■ USB Root Hub ■ USB 大容量記憶装置 ▶ ↓ 印刷キュー ▶ ↓ 記憶域コントローラー 	SB Enhanced Host Controller - 1E26 SB Enhanced Host Controller - 1E2D ller - 0100 (Microsoft)	v

上記の表示がないときは、USB-B端子搭載製品の入力がUSB-B端子に対応する入力になっていることを確認してから、ケーブルを挿入し直すか、電源を一度オフにしてからオンにし直すと再認識されます。

④ 【Windows】キーと【X】キーを押して【コントロールパネル】を選択し、
 【ハードウェアとサウンド】⇒【オーディオデバイスの管理】の順にクリックする。
 上記の表示がないときは、「コントロールパネル」の表示方法が「カテゴリ」になっているかを確認してください。



⑤ 【再生】のタブの「スピーカー」に、「Pioneer xxxxxx」が既定のデバイスとしてチェックマークが表示されていることを確認する。

⇒ 他のデバイスが選択されている場合は、「Pioneer xxxxxx」をクリックして選択し、「既 定値に設定 (S)」ボタンを押す。

٠	サウンド	×
再生録音サウ	ンド通信	
下の再生デバイスを選	択してその設定を変更してください:	
スピーカ- 2- Pione 既定のテ	- er xxxxxxxxxx คิโปิ	
スピーカ- Realtel 準備完	- k High Definition Audio 7	
構成(<u>C</u>)	既定値に設定(S) ▼ プロパティ(P)	
	OK キャンクル 適用(/	
		2/

⑥ 「スピーカー」(「Pioneer xxxxxx」)をダブルクリックしてプロパティを開く。

⑦ 【レベル】タブを選択し、スピーカー スライダーを最大にする。

スピーカーボタン (バランスボタンの左) にミュートマークがついていたら、クリックし、 ミュートを外す。

8	スピーカーのプロパティ	•
全般レベル詳細		
- スピーカー	100	1(5)Z(B)
		I I I I I I I I I I I I I I I I I I I

③ ご使用の再生プレーヤーのボリュームが最大になっていることを確認する。 ご使用の再生プレーヤーに出力プラグイン設定がある場合は、「Pioneer xxxxxx」が選択されていることを確認する。

2.0S エラー音をスピーカーから出したくないとき

初期の OS の設定では、本機を通し、スピーカーから OS 起動音、エラー音などが出力されます。 音楽信号以外を再生させたくない場合は、下記設定を行うとこれらの音声が出力されないようにできます。

 【Windows】キーと【X】キーを押して【コントロールパネル】を選択し、 【ハードウェアとサウンド】⇒【オーディオデバイスの管理】の順にクリックする。

上記の表示がないときは、「コントロールパネル」の表示方法が「カテゴリ」になっているかを確認してください。

【サウンド】タブのサウンド設定で「サウンドなし」を選択し、【適用】をクリックする。

	サウンド
再生 録音	サウンド 通信
サウンド設定は 存の設定を選	、Windows とプログラムのイベントに適用されるサウンドのセットです。既 んだり、変更した設定が保存できます。
サウンド設定(<u>ŀ</u>	<u>+</u>):
Windows 槽	業 ✓ 名前を付けて保存(⊻) 削除(□)
Windows 標 サウンドなし	進 うム イベントをクリックしてから、適用するサウ こと、 まま、 アシロノオのレッ・サウンド設定として保存できます。
プログラム イベ	>F(<u>E</u>):
Window Window NFP NFP Window Window Window Window	パS 完了 接続 dows テーマの変更 dows ユーザー アカウント制御
- (1)7	(タントメッセージの通知 🗸
Windows	スタートアップのサウンドを再生する(<u>P</u>)
サウンド(<u>S</u>):	
(なし)	✓ ▶ テスト(I) 参照(B)
	OK キャンセル 適用(A)

手順終わり

3. パソコンから出力される音声データのサンプリング周波数の設定

再生するファイルのサンプリング周波数と、転送するサンプリング周波数を合わせることに より、周波数変換を行わずに転送することができます。

パソコンのスペックが低い場合、高いサンプリング周波数が設定されていると音声再生に乱 れが生じることがあります。

その場合は、ビット数 / 周波数を「2 チャンネル、24 ビット、44100 Hz」などの低いレートに設定してください。

- 【Windows】キーと【X】キーを押して【コントロールパネル】を選択し、 【ハードウェアとサウンド】⇒【オーディオデバイスの管理】の順にクリックする。 上記の表示がないときは、「コントロールパネル」の表示方法が「カテゴリ」になってい るかを確認してください。
- ② 【再生】タブの「スピーカー」で「Pioneer xxxxxx」をダブルクリックし、スピー カーのプロパティを表示する。

- 19	サウンド	×			
再生録	音 サウンド 通信				
下の再生デ	下の再生デバイスを選択してその設定を変更してください:				
	スピーカー 2- Pioneer XXXXXXXXXX 既定のデバイス				
	スピーカー Realtek High Definition Audio 準備完了				
構成(([□) [□) [□]				
	OK キャンセル 適用(A)				

手順続く

③ 【詳細】タブの既定の形式から、出力したいサンプリング周波数を選択し、適用 をクリックする。

スピーカーのプロパティ	×
全般 レベル 詳細	
既定の形式 共有モードで使用されるサンプル レートとビットの深さを選択します。	
16 ビット、44100 Hz (CD の音質) ▼ 16 ビット、44000 Hz (CD の音質) 16 ビット、48000 Hz (CD の音質) 16 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、96000 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、176400 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、176400 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、384000 Hz (スタジオの音質) 16 ビット、384000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、88200 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、88200 Hz (スタジオの音質) 32 ビット、44100 Hz (スタジオの音質) 32 ビット、48200 Hz (スタジオの音質) 32 ビット、48200 Hz (スタジオの音質) 32 ビット、96000 Hz (スタジオの音質) 32 ビット、48200 Hz (スタジオの音質) 32 ビット、98200 Hz (スタジオの音質) 32 ビット、98200 Hz (スクジオの音質) 32 ビット、48000 Hz (スクジオの音質) 32 ビット、98000 Hz (スクジオの音質) 32 ビット、98000	
OK キャンセル 適用(A)	